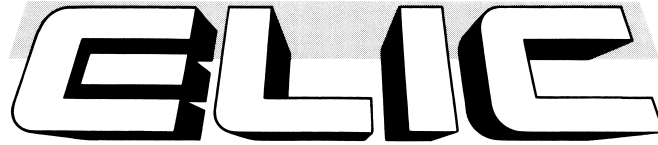


電機労働者懇談会

Electric Labor and Industry Correspondence



2025年9月10日

No 453

1部100円

発行者：ELIC編集委員会谷口利男
142-0043 東京都品川区二葉2-20-8
電話(03)6421-5323 染野ビル2F
郵便振替00130-3-358078ELIC編集委員会

電機各社、第一四半期の業績

(第一四半期の各社業績)

単位億円

電機各社とも、トランプ関税について通期の見通しでの影響を認めつつも、現時点では業績への大幅な修正はないとしています。第一四半期では、沖電気を除くと各社とも売上が伸びていないにも関わらず、業績は好調となっています。

①増収・増益(日立)

エナジーのパワーグリッド事業やモビリティの鉄道部門が好調で、増収・増益となっています。営業利益率も9.3%と高水準となっています。

②営業利益大幅増、純利益は1000億円増(東芝)

エネルギーや防衛部門などが好調です。HDDやエレベータ事業でも増益となり、営業利益が大幅増となっています。

③営業利益が前期比7倍に(NEC)

国内IT事業での収益が向上し、従来下期偏重であった業績が、第一四半期でも営業利益が大幅増になりました。

④営業利益大幅増(富士通)

事業売却などの影響で売上高は減となりましたが、主力のサービスソリューションで増収・増益となっています。

⑤増収・増益で過去最高益(三菱)

インフラやライフ・FAシステムが好調な業績となっています。第一四半期での増収・増益の額は過去最高となっています。

⑥売上高減でも営業利益増(パナソニック)

売上高減は、オートモティブの非連結化に伴うものです。全セグメントでの増収・増益となっています。

⑦営業利益は前期比赤字から153億円の黒字に(シャープ)

営業利益は、前年同期比の△58億円の赤字から大幅に改善し、153億円の黒字になっています。ディスプレイデバイスも、PC・タブ

企業名	売上高		営業利益		
	今期	前期比	今期	前期比	利益率
日立	22,583	2.1 %	2,110	6.8 %	9.3 %
東芝	7,379	△ 1.5 %	401	180.4 %	5.4 %
NEC	7,157	3.7 %	354	686.7 %	4.9 %
富士通	7,499	△ 1.2 %	335	134.3 %	4.5 %
三菱	13,129	2.1 %	1,120	90.8 %	8.5 %
パナソニック	18,967	△ 10.6 %	869	3.7 %	4.6 %
シャープ	4,725	△ 11.2 %	153	- %	3.2 %
富士電機	2,480	4.9 %	181	4.6 %	7.3 %
沖電気	851	△ 13.1 %	△ 14	- %	△ 1.6 %
ルネサスエ	6,343	△ 10.7 %	613	△ 58.5 %	9.7 %
安川	1,256	△ 5.1 %	105	△ 5.4 %	8.4 %

(注:ルネサスは、第二四半期になります)

レットや車載向けが伸長し増収となり、営業赤字は大幅に縮小されています。

⑧営業赤字△14億円(沖電気)

前期比では、新紙幣対応などの大型案件がなくなり、減収となり営業赤字となりました。尚、通期予想では全年度並みの売上高・営業利益を予想しています。

⑨営業利益上げるも純損益△1753億円(ルネサス)

営業利益は減となりましたが、利益率は9.

7%となっています。最終赤字となったのは、米国のSiCパワー半導体のウルフスピード関連での投資損失△2397億円が計上されたことによるものです。

今月号の紙面

- ①電機各社の第一四半期業績を分析
- ②電機懇第38回総会議案の情勢
- ③電機懇第38回総会議案の方針
- ④第7回電機リストラ反撃交流会
- ⑤東アジア研究所講師の方に寄稿
- ⑥ラプラス「地熱」今井さん
- ⑦電機情報ユニオン、青年コーナー
- ⑧電機懇「第38回総会」の案内「からむす」普及。集積回路